

平成 2 6 年度 事業報告

平成 2 6 年度は、これまでの取組みの成果を活かし、4 月の三陸鉄道の全線運行再開や JR 釜石線における SL 銀河の運行などタイムリーな話題を捉えた情報発信に加え、本県初の取組みとなった秋冬期の大型観光キャンペーン等の効果もあり、観光客の入込数は、県全体としては概ね震災前の水準を回復した前年度と同程度で推移しているが、沿岸地域は依然 8 割程度の回復状況となっている。

一方、外国人観光客については、いわてと台湾を結ぶ初の定期チャーター便が運航されるなど、台湾からの入込を中心に震災からの着実な回復傾向を示している。

こうした状況の中、当協会としては、県や関係機関と連携して大都市圏での観光 PR の実施や誘致説明会を開催したほか、秋冬期や沿岸地域への送客を重視した旅行商品造成への支援を行い、沿岸地域を視察対象とする旅行会社の招請事業を実施した。

また、教育旅行誘致の一層の強化を図るため、教育旅行誘致宣伝部会に新たに首都圏活動支部を設置して学校訪問を行ったほか、前年度に引き続き、外部資金を活用して観光人材の育成や事業者の経営革新等への支援事業を実施し、更に、国際観光の分野においては、受入態勢整備という観点から台湾観光客受入態勢整備事業を実施し、海外からの誘客拡大に取り組んだ。

この他の事業においても、県や市町村及び各観光協会並びに観光関係団体と連携し、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の誘致拡大に取り組んだ。

I 【 情報発信 】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の管理運営を行い、各種祭りやイベント等をはじめ、桜等の季節の情報、うまっ！いわて秋冬期観光キャンペーンと連携して、「いわてのお酒&冬のグルメ特集」や「いわて冬期観光キャンペーン特集」ページを製作したほか、ARアプリを構築し動画による観光情報の発信に努めた。

また、トップページにバナー広告を募集し、平成26年7月から掲載した。(7月～9月8社、10月～12月10社、1月～3月5社掲載)

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
アクセス件数 (対前年度比)	1,858,490件 (17%増)	2,405,064件 (29%増)	2,558,466件 (6.4%増)

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会のHP“全国観るなび”を利用して、本県の観光情報を発信した。

2 パブリシティ有効活用事業

各種広告媒体を活用し、本県の観光情報について東北各県及び首都圏を中心として全国に向けて発信した。

掲載年月日	掲載新聞・雑誌等名	発行部数等	内 容
H26.12～ H27.3	開運橋開運ビジョン	14回/日(期間中 1,260回放映)	わんこきょうだいのうたプロモーションビデオの放映
H27.2	ごほうび女子旅	5万部(首都圏)	盛岡市、雫石町、花巻市、北上市、遠野市、釜石市、平泉町の紹介
H27.3	るるぶFREEドラ イブ東北	8万部(東北6 県)	盛岡市、花巻市、北上市、遠野市、一関市、平泉町の紹介
H27.3	タウン情報誌7誌	24万9千部(東北 6県、栃木県)	岩手の桜の名所(北上展勝地、石割桜、盛岡城跡公園、小岩井農場一本桜等)、春の藤原まつりの紹介

3 観光宣伝媒体作成事業

本県への観光客の誘致拡大を図るため「いわて旅地図」を作成した。

- ・ いわて旅地図(作成部数 240,000部)

4 観光キャラクター活用事業

岩手県のPRキャラクター“わんこきょうだい”のグッズを各種観光キャンペーン等において配布するとともに、県内外に販売し、岩手県の観光イメージのPRを図った。

- ・ 販売個数 わんこきょうだい携帯ストラップ 2,996 個
わんこきょうだいシール 1,649 個
「じえ」の缶バッチ 7,272 個
そばっちぬいぐるみ 93 個
そばっちぬいぐるみストラップ 361 個

II 【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

首都圏及び名古屋圏の旅行会社の旅行商品造成・仕入担当者等に対して、岩手県の魅力ある観光資源を紹介・宣伝するとともに、県内の観光・宿泊施設、行政及び観光関係団体等との商談を通じて、旅行商品化を促進し、本県への観光客誘致拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、東京都中野区及び愛知県名古屋市の2地区において開催した。

また、「説明会」・「商談会」終了後に「交流会」を開催し、岩手の地酒・ワイン等を味わっていただくとともに「岩手まるごとおもてなし隊」による観光PR・パフォーマンスを披露した。

会 場	実 施 日	参加状況
東京会場 中野サンプラザ	H26. 9. 25	旅行会社（15社30名）、岩手県側（55名） 理事長、専務理事参加
名古屋会場 名古屋東急ホテル	H26. 11. 18	旅行会社（10社15名）、岩手県側（45名） 専務理事参加



名古屋会場の様子（H26. 11. 18）

(2) エージェント招待事業

実施日	招待者	主な視察先等
H27. 3. 16～3. 17 (1泊2日)	クラブツーリズム(株) 8名	大槌町～田野畑村～久慈市～岩泉町 (三陸花ホテルはまぎく、北山崎断崖クルーズ、三陸鉄道こたつ列車、小袖海岸、ホテル羅賀荘、サッパ船アドベンチャーズ、机浜番屋群、岩泉ヨーグルト工場、ホテル龍泉洞愛山)



エージェント招待事業 (H27. 3. 16)

2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである北海道函館市（※札幌会場＝開催中止）及び東京都並びに大阪府において説明会を開催したほか、学校、旅行会社等への訪問活動を通じ、本県の教育旅行の受入態勢について紹介宣伝を行った。特にも、首都圏からの誘致を強化するため、教育旅行誘致宣伝部会関係者による首都圏での活動組織（首都圏支部）を新たに立ち上げ、本県で修学旅行等を実施の中学校、高校に対する訪問活動を行った。

また、本事業の効果的な推進を図るため、観光情報や体験学習メニューを紹介する教育旅行用ガイドブック『体感！感動！ワクワクいわた』を作成した。

ア 岩手県修学旅行誘致説明会

開催地	実施日	参加状況
東京会場(ホテルメトロポリタンエドモント)	H26. 8. 28	首都圏の旅行会社等の教育旅行担当者 (6社15名)、岩手県側 (70名)、専務理事、安藤部会長参加
函館会場(ロワジュールホテル函館)	H26. 9. 10	函館市及び周辺の中学校の担当教諭及び旅行会社等の教育旅行担当者 (14校14名、6社14名)、岩手県側 (68名)、専務理事、安藤部会長参加
札幌会場(ニューオータニイン札幌)	H26. 9. 11 (開催中止)	北海道地方における大雨の影響により開催を中止。 (※参加予定者数・・・中学校19校22名、旅行会社7社18名、岩手県側71名)
大阪会場(ホテル大阪ベイタワー)	H26. 12. 16	関西圏の高校等の学校関係者及び旅行会社等の教育旅行担当者 (9校12名、7社18名)、岩手県側 (62名)、専務理事、安藤部会長参加



函館会場の様子 (H26. 9. 10)



大阪会場の様子 (H26. 12. 9)

イ 訪問活動

① 首都圏

実施日	訪問先	訪問者
H26. 7. 30 ～7. 31	旅行会社 6 社 (首都圏営業統括部署)	4 名 (県観光課、県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・事務局)
H26. 8. 29	学校 4 校 (国立中 1、私立中 1、都立高 2)	9 名 (県観光課、県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・首都圏支部メンバー 4 名・事務局 2 名)、専務理事参加
H26. 12. 2 ～12. 4	学校 16 校 (千葉 5 校＝公立中 4、私立高 1、神奈川 10 校＝公立中 5、私立中 2、公立高 2、私立高 1、埼玉 1 校＝公立高 1)	9 名 (県観光課、県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・首都圏支部メンバー 4 名・事務局 2 名)
H26. 12. 4	東京都教育局指導部高等学校教育指導課、埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課・市町村支援部義務教育指導課	4 名 (県観光課、県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・事務局)

② 北海道

実施日	訪問先	訪問者
H26. 7. 16 ～7. 17	北海道・札幌市・函館市の各教育委員会、北海道中学校長会会長、札幌市中学校長会会長、函館市中学校長会会長、旅行会社 12 社 (函館 5 社、札幌 7 社)	4 名 (県観光課 2 名、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・事務局)
H26. 9. 11	札幌市中学校長会会長、J R 北海道本社営業部 (修学旅行誘致説明会開催中止の報告)	4 名 (県観光課 2 名、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・事務局)
H26. 10. 27 ～10. 28	中学校 5 校 (札幌市 4 校、白老町 1 校＝修学旅行誘致説明会札幌会場参加予定中学校)、札幌市教育委員会	3 名 (県観光課、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・事務局)

③ 大阪府

実施日	訪 問 先	訪 問 者
H26. 11. 11 ～11. 12	大阪府教育委員会事務局教育振興室高等学校課、大阪府府民文化部私学・大学課、大阪府高等学校校外学習研究会会長、旅行会社 6 社	4 名（県観光課、県大阪事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・事務局）
H26. 12. 15	府立高校 1 校	4 名（県観光課、教育旅行誘致宣伝部会幹事長・事務局 2 名）

ウ 体験メニューガイドブック作成

名 称	作成部数
岩手教育旅行ガイドブック「体感！感動！ワクワクいわて」	2,000 部

3 旅行商品造成事業（広域連携観光推進事業と併せて実施）

県外観光客の本県への誘致を促進するため、旅行会社等が行う旅行商品の造成などへの支援を行った。

（支援数：5 企画）

団 体 名	企画名称	支援内容
パッケージ ツアー型	クラブツーリズム(株) 冬のいわて三陸の旅 3 日間	広告掲載料
地域滞在型	(株)日本旅行 東北仕入販売センター 赤い風船「宿コレクション東北」、 『赤い風船イーハトーブ岩手マル チクーポン』	循環バス乗車券 代等
W e b 広告	楽天(株) 楽天トラベル地域プロモーション 「旅頃」	W e b 広告掲載 料
	トップツアー(株) 個人旅行事業部 いわてスペシャル「“あっ” とう ほく」「とうほく S T A Y」	
	(株)日本旅行 東北仕入販売センター 岩手県送客 W e b キャンペーン魅 力いっぱい「イーハトーブ・いわ て」へ行こう	

Ⅲ【受入態勢整備】

1 いわての観光サポート事業

(1)「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置して、手紙、電話及びメール等により寄せられる本県の観光に係る苦情、意見・提言等に対応した。

ア 苦情等対応状況

区分	件数	主 な 内 容
意見	1 件	① 岩手県観光協会推奨土産品へのアドバイスについて
要望	1 件	① 岩手県営運動公園のクライミングボードの下の水たまりについて
苦情	4 件	① 雪谷川ダムフォリストパーク・軽米風車展望台での対応について ② 八幡平見返り峠有料駐車場の対応について ③ 盛岡城跡公園発掘調査車両の駐車について ④ 盛岡駅東口タクシー乗り場の案内について
計	6 件	

イ 観光情報等問合せ状況

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
観光相談	1,848 件	1,576 件	1,634 件
資料送付	1,465 件	1,235 件	1,078 件
合 計	3,313 件	2,811 件	2,712 件

(2) 「V」案内所運営等観光情報提供事業

国際観光振興機構の指定（H16.3.26）を受けて当協会事務局内に設置している「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行者に対しても観光情報を提供するため嘱託職員 1 名を配置している。

区 分	平成 26 年度
問合せ別件数	窓口：4 件 電話：1 件 FAX：0 件 電子メール：31 件
内容別件数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：2 件 印刷物：29 件 交通：1 件 宿泊：0 件 食事：0 件 娯楽：0 件 生活、その他一般：5 件

2 北東北観光センター運営

本県の観光情報の提供を行い、本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、JR盛岡駅 2 階の北東北観光センターの運営経費の一部を助成した。

区 分	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
来 訪 件 数	24,306 件	23,449 件	20,596 件
電 話 ・ 書 面	933 件	644 件	669 件
宿 泊 案 内	1,044 件	944 件	921 件

3 観光土産品改善事業

観光産業の振興に重要な役割を果たしている観光土産品の品質向上を図るため、第 55 回岩手県観光土産品推奨審査会を開催し、観光土産品の推奨を行った。併せて、ホームページ「岩手県観光ポータルサイト “いわての旅”」に推奨品を紹介した。

- ・ 推奨審査会 平成 26 年 11 月 28 日（金）
- ・ 推奨期間 平成 27 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日（2 年間）

- ・ 推奨点数 33点（新規3点、更新30点）

4 ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とボランティアガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：九戸城ボランティアガイドの会、加入団体25（支援・サポート団体13））に支援を行った。

5 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」において優良従事者表彰を行った。

- ・ 実施日 平成26年5月16日（金）
- ・ 会場 盛岡グランドホテル
- ・ 被表彰者 9名



《宿泊施設関係》 6名

（順不同、敬称略）

推薦団体	所属	氏名
(一社)花巻観光協会	花巻温泉(株) ホテル千秋閣 支配人	佐藤 寿美
(公財)盛岡観光コンベンション協会	盛岡ターミナルビル(株) 営業部・宿泊部 部長	宮 敦
	盛岡ターミナルビル(株) 宿泊部 チーフ	小野寺 圭子
(一社)遠野市観光協会	ホテルあえりあ遠野 フロント担当	安部 沙菜恵
	ホテルあえりあ遠野 フロント担当	林崎 由美子
洋野町観光協会	グリーヒルおおの フロント係	野田 亜紀乃

《交通機関関係》 3名

推薦団体	所属	氏名
(公社)岩手県バス協会	(有)平泉観光 営業課長	佐藤 一美
	岩手県北自動車(株) 観光バスガイド	野田 麻利江
(一社)遠野市観光協会	早池峰バス(株) 運転士	佐藤 正一

6 「おもてなしの心」向上研修事業

観光客を迎える接遇の向上を目指す「おもてなしの心向上研修会」を実施した。また、「いわて観光おもてなしマイスター」で運営する「いわて観光おもてなしマイスターの会」の研修事業に支援した。

ア おもてなしの心向上研修会

- ・ 実施日 平成 26 年 11 月 17 日（月）
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 賛助会員 99 名
- ・ 講 師 西條ユキコ企画室 代表 西條ユキコ
- ・ 内 容 接遇の基礎、クレーム対応等

イ 「いわて観光おもてなしマイスターの会」への支援

○ 実地研修会（観光知識）

- ・ 実施日 平成 26 年 11 月 5 日（水）
- ・ 参加者 いわて観光おもてなしマイスター 21 名
- ・ 視察先 黒石寺、正法寺、えさし藤原の郷、回進堂ようかん工場、奥州宇宙遊学館

7 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年を機に、5 月 16 日を県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となる「いわて観光の日」と定めているが、この日を記念して講演会を開催し普及、啓発を図った。

- ・ 実施日 平成 26 年 5 月 16 日（金）
- ・ 会 場 盛岡グランドホテル
- ・ 出席者 118 名
- ・ 講 演 ① 演題 希望郷いわて国体・希望郷いわて大会に向けた取組みの状況
講師 岩手県国体・障がい者スポーツ大会局 局長 松岡 博氏
② 演題 おもてなしの取組み～国体を契機として～
講師 長崎県佐世保市国体推進室 係長 古川 哲氏

8 観光産業人材育成等支援事業

いわて希望ファンド地域活性化支援事業助成金を活用し、観光関連事業者の経営革新や人材育成を支援した。

(1) おもてなしの心講師養成事業

接遇の向上・気運醸成を図るため、県内の観光関連事業者に指導できるよう、いわておもてなしマイスターを対象とした接遇講師養成研修会を実施した。

ア おもてなしの心講師養成セミナー

- ・ 実 施 平成 26 年 9 月 16 日（火）
- ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）
- ・ 参加者 15 名
- ・ 講 師 IBCアナウンス学院長 河辺 邦博氏

- ・ 内 容 発声法、話し方
- イ 講演指導
- ・ 実 施 平成 26 年 10 月～平成 27 年 1 月
 - ・ 会 場 いわて県民情報交流センター（アイーナ）等
 - ・ 参加者 8 名
 - ・ 講 師 株式会社リサーチユ 代表取締役 渡壁ほづみ氏
 - ・ 内 容 個別講演指導、個別講演テキスト作成指導

(2) おもてなし経営研修事業

観光関連事業者の経営革新を促進するため、経済産業省が推進している「おもてなし経営」を実践している企業の取組みを学ぶセミナーや当該企業を見学する「現地視察会」を実施した。

ア 「おもてなし経営」セミナー

- ・ 実施日 平成 26 年 11 月 19 日（水）
- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡本館
- ・ 参加者 賛助会員 39 名
- ・ 講 師 ジャーナリスト・中小企業診断士 瀬戸川 礼子氏
(株)王宮 道頓堀ホテル 専務取締役 橋本 明元氏
(株)一心亭 代表取締役社長 小野 敦司氏
- ・ 内 容 経営革新の事例、人材育成を活用した経営の考え方、社員の意欲・能力向上に向けた取組み会社全体の事例、「おもてなし経営企業」の取組み等

イ 現地視察会

- ・ 実施日 平成 26 年 11 月 20 日（木）
- ・ 視察先 (株)一心亭 盛岡東仙北店
- ・ 参加者 賛助会員 15 名
- ・ 指導者 (株)一心亭 代表取締役社長 小野 敦司氏
(株)一心亭 取締役営業部長兼八戸店支配人 玉内 良春氏
- ・ 内 容 社員の意欲・能力向上に向けた店舗での具体的取組み事例、店舗での研修会の視察、店内視察等

(3) トヨタ生産方式によるコンサルテーション事業

事業者の経営革新を促進するため、業務効率の向上、社員の能力向上を目指し、トヨタ生産方式の改善の手法によりコンサルタントが事業者を直接助言指導する「現地指導」、更には「現地指導」を受けた事業者が、取組んだ改善活動を発表するセミナー（改善活動発表会）を実施した。

ア 現地指導

- ・ 期間・回数 平成 26 年 9 月～平成 27 年 1 月、5 回
- ・ 対象事業者 県内 6 社（宿泊 4 社、物販 1 社、温泉 1 社）
- ・ 指導者 一般社団法人中部産業連盟コンサルタント 2 名
- ・ 指導内容 経営幹部のヒアリング、トヨタ生産方式による改善の考え方、ムダの見つけ方、サービスの向上、課題改善にむけた助言指導等

イ セミナー 改善活動発表会

- ・ 実施日 平成 27 年 2 月 13 日（金）
- ・ 会 場 ホテル東日本盛岡
- ・ 参加者 賛助会員 95 名
- ・ 発表者 現地指導対象事業者 6 社の改善活動実践者 6 名
- ・ 指導者 一般社団法人中部産業連盟コンサルタント 2 名
- ・ 内 容 改善活動の発表（現状、課題、取組内容、成果、今後の活動）、指導者からの総括指導等

IV 【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

ア 国際旅行博への出展

第 22 回台北国際旅行博（ITF2014）に出展し、本県の観光宣伝を行った。

名 称	主 催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
第 22 回台北国際旅行博 （ITF2014）	（財）台湾観光協会	H26. 11. 7～11. 10 （4 日間） 台北世界貿易センター	315, 240 人 60 カ国・地域、850 団体出展	東北ブロック広域観光振興事業推進協議会（岩手県、（公財）岩手県観光協会、愛真館・ホテル紫苑、安比高原、平泉町、中尊寺、花巻温泉（株）、その他東北 6 県から参加。ブース数 4、11/6 商談会専務理事参加

イ 国際観光支援事業

台湾といわて花巻空港間のチャーター便の増便や定期便化の要請、台湾と本県の観光交流の拡大を図るため、ミッション団や観光 PR に参加した。

- ・ H26. 4. 17～ 4. 20 知事を団長とする関係団体訪問及び観光 PR、理事長参加
- ・ H26. 12. 19～12. 22 東北プロモーション in 台湾「日本東北六県感謝祭」参加
- ・ H27. 3. 27～ 3. 30 台北駅での観光 PR

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を離発着する国際チャーター便（台湾、韓国）の運航に応じて、「花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会」が、歓迎行事を実施した。

また、入出国審査等が円滑に行われるよう、毎回、通訳を 3～4 名配置した。

合 計	平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度	
	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	14 回	2,152 人	26 回	3,964 人	48 回	5,000 人
春季 (4～6 月)	5 回	751 人	10 回	1,447 人	23 回	2,454 人
夏季 (7～9 月)	- 回	- 人	- 回	- 人	1 回	242 人
秋季 (10～12 月)	7 回	1,146 人	6 回	906 人	15 回	1,129 人
冬季 (1～3 月)	2 回	255 人	10 回	1,611 人	9 回	1,175 人



歓迎セレモニーの様子



歓迎行事 (バスの出発を見送り)

(2) 「V」案内所運営 (北東北観光センター)

JR盛岡駅2階に設置されている「V」案内所の運営経費の一部を助成した。

(3) 台湾観光客受入態勢整備事業

いわて希望ファンドの助成金を活用して、本県を訪れる外国人観光客のうち、大半を占める台湾観光客の受入態勢を向上させ、一層の誘客につなげるため次の事業を実施した。

実施日	実施内容	開催概要
H26. 8. 27	受入研修会 盛岡市	講師：JNTO 職員
H26. 9. 4	同上 久慈市	内容：台湾市場の動向、プロモーションの方法、基本的な受入態勢
H26. 10. 25～28	専門家招請による現地指導	八幡平市～西和賀町～奥州市～一関市他
H26. 11. 22～25	同上	北上市～遠野市～岩泉町～久慈市他
H26. 11. 27	先進事例講演会 現地視察	立山黒部貫光(株)、登別観光協会の事例 花巻温泉の受入態勢を視察



受入研修会 (久慈市 H26. 9. 3)



現地指導集合写真 (H27. 10. 27)

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営

北東北三県及び北海道が、共同で設置した韓国ソウル事務所の運営管理を実施した。また、4道県が共同して実施した商談会に参加し、韓国旅行会社等に本県の観光資源を紹介宣伝するなど誘客の促進を図った。

ア 北東北三県・北海道ソウル事務所観光商談会

実施日	会場等	参加者等	内容
H26. 10. 14	ソウルプラザホテル(大韓民国ソウル市)	韓国側旅行関係者等 69社 126名 日本側企業 25社 37名、専務理事参加	冬・春季の観光資源説明、観光パンフレットの配布

イ モニター招請事業

韓国内でアクセス数の高い人気ブログを作成しているパワーブロガー2名を招請して、桜、食、自然をテーマに本県の魅力をHP等で広く情報発信した。

実施日	招請者	主な視察先等
H26. 4. 28～5. 1 (3泊4日)	ブロガー2名	盛岡市内、北上展勝地、八幡平雪の回廊、小岩井農場

ウ 韓国 AGT 連携ファム事業

トレッキングなど新たな旅行商品の造成促進を図るため、青森県、秋田県及び東北観光推進機構と連携して、韓国旅行エージェントを招請した。

実施日	招請者	主な視察先等
H26. 10. 27～10. 31 (4泊5日)	旅行会社6社6名	八幡平、乳頭温泉、種差海岸、奥入瀬溪流、八甲田

4 韓国旅行エージェント招請事業

ゴルフと観光を組み合わせた新たな旅行商品を開発するため、韓国の旅行会社を招請し、ゴルフ場及び観光地を視察した。

実施日	招請者	主な視察先等
H26. 5. 15～5. 18 (3泊4日)	旅行会社6社6名、ソウル事務所1名	北上カントリークラブ、雫石ゴルフ場、安比ゴルフ倶楽部、瀬美温泉、花巻温泉、中尊寺、狛鼻溪、えさし藤原の郷、キューポラの館、小岩井農場

5 韓国ゴルフ旅行エージェント招請事業

ゴルフを中心とした旅行商品を開発するため、韓国の旅行会社を招請し、ゴルフ場を体験視察した。

実施日	招請者	主な視察先等
H26. 7. 5～7. 7 (2泊3日)	旅行会社3社3名	北上カントリークラブ、金ヶ崎ゴルフ場、栗駒ゴルフ場

6 マレーシアTV局招請事業

今後有望なイスラム圏からの誘客をめざすため、ムスリムをターゲットとしてマレーシアTV局を招請し、東北の宿泊施設で初めてローカルハラル認証を取得したホテル安比グランドのレストランと県内の観光地を組み合わせ取材した。

実施日	招請者	主な視察先等
H26. 10. 15～10. 16 (1泊2日)	マレーシアTV局3名 マレーシアハラルコーポレーション(株)代表1名	八幡平アスピーテライン、ホテル安比グランド、狛鼻溪

7 台湾情報発信機能強化事業

台湾からの更なる誘客促進を図るため、台湾人が最も情報収集に活用されているwebやSNSでの情報発信を強化するため、嘱託職員を1名任用し台湾向けの繁体字版のFB用の記事を作成した。

8 国際観光情報コンテンツ作成事業

今後誘客が期待できる東南アジアや中国向けの情報コンテンツ作成のため、岩手県内在住の留学生に、県内観光地を視察してもらい、ホームページや旅行博等で使用できるような観光地情報を作成した。

実施日	内訳	行程
H27. 3. 21～3. 22	タイ1、中国1、ベトナム2	盛岡市～小岩井～花巻温泉～中尊寺～狛鼻溪等

9 訪日外国人誘客・受入研修会

訪日外国人の本県への誘客を一層拡大するため、その受入態勢の整備促進と併せて、障がいを持つ方などを含め、あらゆる方が旅行しやすい環境を整備するため、ユニバーサルデザインについて研修するための講演会を開催した。

実施日	講師	参加者
H27. 3. 25 盛岡市開催	(株)情報通信総合研究所職員 ほか	県内インバウンド施設関係者等 58名参加



研修会の様子 (H27. 3. 25)

V 【 連携・支援 】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会負担金の支出及び同協議会が出展するイベント等に参加し観光PRを行った。

《主な対応状況》

実施日	場 所	イベント名等
H26. 4. 18 (金) ～4. 20 (日)	名古屋市	名古屋名産・観光フェア
H26. 8. 23 (土) ～8. 24 (日)	仙台市	ハイウェイフェスタ東北 2014
H26. 9. 26 (金) ～9. 29 (月)	東京都	ツーリズムEXPOジャパン 2014
H26. 11. 1 (土) ～11. 3 (月)	名古屋市	ゆるきゃらグランプリ in セントレア
H26. 12. 18 (木) ～12. 20 (土)	東京都	いわて産直市 (上野駅)

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会事業費の一部を負担した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加、出展

各種観光関係催事へ参加、出展し、観光PRを行った。

《主な対応状況》

実施日	場 所	イベント名等
H26. 8. 29 (金) ～8. 30 (日)	名古屋市	ユニー岩手県フェア
H26. 10. 18 (土) ～10. 19 (日)	名古屋市	名古屋まつり
H27. 3. 20 (金) ～3. 22 (日)	大阪市	第 31 回大阪モーターサイクルショー2015
H27. 3. 27 (金) ～3. 29 (日)	東京都	第 42 回東京モーターサイクルショー



名古屋まつり (H26. 10. 19)



大阪モーターサイクルショー (H27. 3. 20)

イ 後援、共催

「春の藤原まつり」(主催：(一社)平泉観光協会)ほか、53 イベント等に対する後援・共催を行った。

2 県外事務所観光振興支援事業

東京、大阪、名古屋及び福岡の大都市圏において、本県への観光客の誘致を一層促進するため、岩手県の県外事務所が実施する誘致宣伝事業等を支援した。

県外事務所	主な実施内容
岩手県東京事務所	観光相談員現地視察研修旅費、観光宣伝用物品等購入費、(公社)日本観光振興協会賀詞交歓会等負担金
岩手県大阪事務所	観光宣伝用物品等購入費
岩手県名古屋事務所	観光宣伝用県産品等購入費、観光イベント告知用ポスター掲出費(地下鉄大曾根駅、八事駅、本山駅)
岩手県福岡事務所	旅情報誌「遊人」(秋号)の岩手の旅特集記事作成に係る取材経費

3 (公社)日本観光振興協会への拠出金

同協会に対して、全国広域観光振興事業拠出金を負担した。

4 東北観光推進機構事業

同機構に会員として参画し、東北広域観光の振興を図った。

5 北東北三県観光立県推進協議会事業

同協議会が企画・実施する事業に会員として参画し、広域観光の振興を図った。

6 観光宣伝事業等負担

(公社)日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に対して負担金を支出した。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の平成26年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。